



よちえん

39  
号  
2月 26日



いよいよ3月を迎えます。

春の足音が聞こえる頃となり、こどたちの今年度の生活は3週間ほどとなりました。

特に年長児たち、残された日々を惜しむかのような言動を感じことがあります。そんなこどたちの想いに、あなたかな気持ちで接してあげなければ…と。

■クラスの予選を勝ちぬいて来た男女の4名横綱・大関・関脇・小結が学年の王者を競う「ちびっこすもう大会」がコロナ対策として中止となりました。

クラスの予戦でと、そして、ホールでの決戦でと数々のエピソードを生み出して、観戦のお家の方々にさまざまな思い出を味わっていただけていただけに残念です。

このエネルギーを他の活動にふりきげとらって、残された日々を心よきなく楽しんでみたいのです。

■ランチタイムのこどたち、誰ひとりとしておしゃべりしているひとたちは居ません。みんながおやそくをきちんと守っているのです。お酒を飲みながらごはん食べておしゃべりしている大人たちとは全く違います。



つづみと年長児たちの園生活のよさを園長がビデオに編集しております。  
修了の日と卒園の日まで間に合うよう作業をすすめています。  
楽しみにお待ちください。

月	火	水	木	金	土	日
1	2 お楽しみ会(長)	3	4	5 コスモ体操(長)	6 ひょくらぶ	7
8	9	10	11 つづみ修了式 Aグループ	12 つづみ修了式 Bグループ	13	14
15 練習	16 お別れ会(全)	17	18 第49回 卒園式 X	19 令和2年度 終業式 ○	20	21
22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27	28
29 ○	30 ○	31 ○				

## 根っこの育ち

3.

我が子に凸凹道を行かせるよりは、履き清められた道を行かせたい。

我が子に遠まわりの道よりも近道を行かせたい。

ご願うのは当然の親心ですね。

でも、反対の道を歩む事によって、我が子は数々の経験をしながら、多くの事を学びます。

正に自然の生活はこんな園生活なのです。

2歳、3歳という幼い時から、その年齢に適した課題に取り組む園生活を送っています。

「苦あれば楽あり」の経験を、この園生活でどの子も幾度となく経験します。

一人ひとりに「心の育ち」がしっかりと見て取れます。

これから育ちに必要な「根っこ」の育ちが見て取れるのです。